

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回中村警察署協議会（定例会）																																									
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年2月29日（木） 午後2時から午後4時40分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>中村警察署 講堂</p>																																									
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">松本 修藏</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">近藤多喜男</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>小塚 康</td> <td>委員</td> <td>柴田 光弘</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>高野 洋子</td> <td>委員</td> <td>堀部 美紀</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>青木 常敏</td> <td>委員</td> <td>天野 直明</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>後藤八重美</td> <td>委員</td> <td>中村 圭子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>小塚 文夫</td> <td>委員</td> <td>宮地 秀幸</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>三宅 光治</td> <td>委員</td> <td>宮下 寛隆</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>大竹麻衣子</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上15名（定数15名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">守部署長</td> <td style="width: 33%;">志治副署長</td> <td style="width: 33%;">伊藤警務課長</td> </tr> <tr> <td>池田会計課長</td> <td>若杉生活安全課長</td> <td>林地域課長</td> </tr> <tr> <td>波多野刑事課長</td> <td>野々川交通課長</td> <td>中西警備課長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>	松本 修藏	会長	近藤多喜男	副会長	小塚 康	委員	柴田 光弘	委員	高野 洋子	委員	堀部 美紀	委員	青木 常敏	委員	天野 直明	委員	後藤八重美	委員	中村 圭子	委員	小塚 文夫	委員	宮地 秀幸	委員	三宅 光治	委員	宮下 寛隆	委員	大竹麻衣子	委員			守部署長	志治副署長	伊藤警務課長	池田会計課長	若杉生活安全課長	林地域課長	波多野刑事課長	野々川交通課長	中西警備課長
松本 修藏	会長	近藤多喜男	副会長																																							
小塚 康	委員	柴田 光弘	委員																																							
高野 洋子	委員	堀部 美紀	委員																																							
青木 常敏	委員	天野 直明	委員																																							
後藤八重美	委員	中村 圭子	委員																																							
小塚 文夫	委員	宮地 秀幸	委員																																							
三宅 光治	委員	宮下 寛隆	委員																																							
大竹麻衣子	委員																																									
守部署長	志治副署長	伊藤警務課長																																								
池田会計課長	若杉生活安全課長	林地域課長																																								
波多野刑事課長	野々川交通課長	中西警備課長																																								
諮 問 事 項 等	歩行者の交通安全対策																																									
答 申 等 の 概 要	<p>1 高齢者が多く利用する道路上の危険箇所における広報啓発活動の推進</p> <p>2 世代交流を活用したマナーアップを含む各種交通安全教室等の推進</p>																																									
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月																																									

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状交付
2	会長及び副会長の選出
	委員の互選により、松本修藏委員を会長に選出し、会長は、近藤多喜男委員を副会長に指名した。
3	会長挨拶
4	副会長挨拶
5	委員自己紹介
6	署長挨拶
7	幹部紹介
8	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
9	前回の答申に対する具体的施策の進捗状況（警備課長説明）
	(1) 諮問事項
	外国人コミュニティにおける警察活動の推進
	(2) 答申事項
	ア 外国人コミュニティに対する効果的な情報発信活動
	イ 外国人コミュニティとの情報交換体制の構築
	ウ 警察活動における外国人の人権尊重を意識した対応の向上
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	○ 名古屋国際センターとの連携を強化し、同センターのSNSに「や
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
さしい日本語」を用いた外国人向け広報資料を順次掲載	
○ 警察官が、名古屋モスク、外国人向け講習センター等を訪問し、外国人に対し、災害対策、犯罪防止、交通安全等に関する講話を実施	
イ 答申事項イについて	
○ 国際交流の拠点として重要な位置付けにある名古屋国際センターとの連携を強化し、外国人に対しタイムリーに情報発信できる体制を構築	
○ 新たに日本語学校との連絡体制を構築し、外国人が関係するトラブルを未然防止するための情報交換	
ウ 答申事項ウについて	
○ 署員に対して、レイシャルプロファイリングに関する教養を行い、外国人と接する機会の多い地域課員を始め、各課員に対して外国人の人権尊重を意識付け	
○ 「外国人の人権を尊重しながら、力強い職務執行を」と題する署内向け教養資料を作成し、全署員に対する周知	
10 諮問	
(1) 諮問事項	
歩行者の交通安全対策	
(2) 諮問事項の設定理由（交通課長説明）	
令和5年中、中村区内の交通事故分析結果に基づき、歩行者、自転車対策を強化したところ、自転車関連事故は前年比で減少したものの、歩行者関連事故は前年比で増加し、交通事故負傷者数は大幅に増加した。	
よって本年は自転車対策に加え、歩行者関連事故の分析に基づき、効	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
果的な交通事故抑止対策を強力に推進する必要があることから、令和5	
年中の取組状況を踏まえ、より効果的な方策について検討する必要がある。	
11 協議	
委員	・ 歩行者、ドライバー、それぞれが交通ルールを理解し、守ることが大前提であると思う。
	・ スマートフォンを見ながらの歩行や自転車乗車は大変危険であり、交通事故につながると思う。
	・ 以前、歩行者妨害違反の取締りを受け、その後は、横断歩道を通
	過する際には、歩行者の安全確認の意識が高まった。
	・ 歩行者に対する信号無視等の指導取締りを強化してほしい。
委員	・ 歩行者妨害違反はどのように取締りを行っているのか。
警察	・ 横断歩道を横断、又は横断しようとする歩行者がいるにもかかわらず、横断歩道の直前で一時停止をしないで歩行者の横断を妨害すると歩行者妨害違反となる。
委員	・ 高齢者に交通ルールを理解させることは難しいため、皆が高齢者
	に対し関心を持ち、危ないと思ったら声を掛けることができると
	思う。
	・ 危険箇所における広報活動を行ってほしい。
	・ キャンペーン等における有名人による広報啓発活動は、とても効果があると思う。
	・ 横断歩道の整備、標識や信号機等の設置を増やしてほしい。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許証を取得し何年もたつと、交通ルールを忘れている方も多いと思う。 ・ 交差点等に交通法令が記載された看板等を設置することにより、ドライバーに交通ルールを思い出させる効果があると思う。 ・ 横断歩道を渡ると遠回りになるため、道路を横断する歩行者がいることから、目立つ場所で広報活動を行い、歩行者の意識を高める活動が必要だと思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近では、横断歩道で止まるドライバーが増えてきていると思う。 ・ 横断歩道を渡ると遠回りになるため、道路を横断する高齢者が多いと思う。 ・ 高齢者向けの交通安全教室を数多く行うことが望ましいと思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人がマナーやモラルの意識を高めることが必要だと思う。 ・ メディア等による広報活動により、横断歩道の手前で止まるドライバーが増えてきており、効果があると思う。 ・ 高齢者は、交通安全教室や講習等を受け、その場では理解するものの、時間がたつと忘れがちになってしまうと思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者は基より、若者の意識向上をどのように行うのか。 ・ 各種会合に出席する高齢者は意識付けができると思うが、出席をしない方の意識付けをどのように行うのかが問題である。 ・ 高齢者が多く居住している地区を選定した広報活動を行うなど、地道に活動を行っていくしかないと思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が家では、息子が交通安全教室を受けて学んだことを父に伝え 		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
<p>ている。また、息子がもらった反射材を息子が父に付けたところ、</p> <p>いつまでも付けていたため、子供の影響は大きいと感じた。</p>			
委員	<ul style="list-style-type: none"> 警察がいろいろな取組を行っているにも関わらず、スマートフォンやヘッドホンを使用したり、斜め横断している人を目にする。 交通マナーを向上するための交通安全教室等を強化してほしい。 高齢者が青信号内に道路を渡りきれない姿を目にすることがあり、対策が必要と思う。 意識付けができるようなキャッチフレーズや標語を考えてはどうか。 会合等に参加しない高齢者に対して、民生委員の協力を得て一声掛けたり、反射材を直接身に付けさせてあげることで効果があると思う。 警察官の姿やパトカーを見かけることで意識するため、パトロールの強化をしてほしい。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 警察の広報啓発活動により、ドライバーの歩行者に対する意識が向上してきていると思うが、まだまだ低いと感じる。 メディアを活用した広報啓発活動は効果があり、意識付けができると思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が、交通安全教室に参加し、その場では理解するが日にちがたてば忘れてしまうため、高齢者に交通ルールを守らせることは難しいと思う。 高齢者は、身体能力が劣っているため、青信号が短い交差点では 		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
道路を渡りきれない。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンドアップ運動を行い、高齢者が手を挙げ横断歩道を渡ることは良い方法と思う。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバー、歩行者、それぞれが交通ルールを守る意識付けが大切と思う。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者のスマートフォンを見ながらの歩行が目立つため、若者に対する意識付けが必要と思う。 			
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の優先意識が強いと感じる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の中に自宅付近では、交通状況を把握しているため、交通量が少ないと思うときには、交通ルールを守る意識が薄くなることがある。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の交通ルールや罰則規定等を周知する広報活動が必要と思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者に対する指導取締を強化することで効果があると思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路横断ができないよう設備を整えてはどうか。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他県では、ドライバーが横断歩道の手前で止まる行為が以前から意識づけられており、愛知県では、最近になって意識付けられたように思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバーに対する意識付けができれば、歩行者は、横断歩道を安全な場所であると思うことができる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弊社では、ドライバーズコンテストを行うなど、各自の意識を高めている。 		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> ポールが設置されている交差点は、ドライバーの巻き込み防止の意識を高め、歩行者の安全確保がされている。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県には独特な運転文化があり、交通事故が多いと思う。 交通事故を防止するためには、人の配置は難しいため、カメラの設置やゾーン30を増やすことが有効である。また、赤色灯や警察官が立っているように見える看板を設置し、ドライバーに注意喚起を促す取組をしてはどうか。 海外では、カメラを設置したことで、交通事故が減少した国があると聞いたことがある。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の道路横断が法令違反であることを初めて知った。 横断歩道の手前で一時停止するドライバーが増えてきていると思う。 歩行者のスマートフォンを見ながら歩行するマナーの悪さが目に付く。 横断歩道を渡りそうもないと感じられる人が、いきなり横断することがある。 ハンドアップは、歩行者が横断歩道を渡る意識をドライバーに伝える効果的な方法と思う。 常に反射材を身に付けていれば、服装を気にすることなく交通事故防止につながると思う。 世代を超えた交通安全教室を行うことで効果が上がると思う。 		
12	答申		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

